

「さくらマップ2019」
正面入口で配布中

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (3/9~4/4)

「草木染の世界」展

◇展示温室 (3/9~4/17)

ゼラニウム展

ミツマタ (ジンチョウゲ科)

中国原産の落葉低木で、枝が三つに分かれることからこの名があります。樹皮に丈夫な繊維があり、古くから和紙の原料とされ、特に高額紙幣に使われます。

アラビス・フェルディナンディ コブルギィ (アブラナ科)

ブルガリア原産。ピリン山脈の標高 2000~2800 mの石灰岩地に群生します。ヤマハタザオのなかまで斑入り品種もあります。種小名は19世紀のブルガリアの王様に因みます。

カランコエ (ベンケイソウ科)

マダガスカル原産の着生種ユニフローラなど貴重な野生種が咲いています。

ファレノプシス・シレリアナ (ラン科)

コチョウランの原種の一つ。花も美しいが、斑模様のある葉も美しい。

カカオ (アオイ科)

中南米原産。「幹生花(果)」といって、花や実が幹に直接着きます。かなり大きくなった実が2つついています。

エウロフィエラ・レンプリアナ (ラン科)

「マダガスカルの女王」の愛称もある大型のランです。マダガスカルの東岸原産です。20輪くらいの大きな花が伸びた花茎の先に咲いています。国内での開花例は少なく、珍しいものです。

オキナグサ (キンポウゲ科)

日当たりのよい草原に生える多年草です。全草が白い毛に覆われています。

カタクリ (ユリ科)

広島県(向原町)が分布の南限。春植物の一種で、淡紫色の可憐な花は必見です。

トサミズキ (マンサク科)

名前のとおり、高知を中心とした四国山地の石灰岩地に多く生育しています。つり鐘状の淡い黄色の花が、鈴なりに咲いています。

ユスラウメ (バラ科)

中国原産の落葉低木です。サクラに似た白い花が葉腋に一つずつ咲いています。白い毛に覆われた葉も生え始めています。梅雨の始めころに柄のないサクランボに似た赤い実が成り、ほんのり甘くて食べられます。

香りの小径

淡いブルーの星形の花を咲かせるハナニラ、ブドウの房のような形で濃いブルーのムスカリ、黄花のスイセン、白いベル型の花に緑のブロッヂが入るスノーフレークなど、春を彩る球根植物の競演をご覧ください。

